

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：社会人類学調査法 ILAS Seminar :Social Anthropological Research			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 岩谷 彩子		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2025・前期	受講定員 (1回生定員)	10(10)人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	木2	教室	共北3B			使用言語	日本語
キーワード	ジェンダー / 人類学 / フェミニズム / グローバル化 / オリエンタリズム						
(総合人間学部の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。)							
[授業の概要・目的]							
<p>ジェンダーの視点は、現在、世界で生じている大きな社会変動を読み解くうえで、必要不可欠なものになりつつある。しかし、ジェンダーの多様性をふまえた社会構築に対する反動が世界各地で起きており、新たな社会秩序は模索されている途上である。</p> <p>また日本社会におけるジェンダーをめぐる議論は、まだまだ世界の潮流に追いついていない現状がある。本講義では、多様な人間社会をジェンダーの視点から考察するうえで必要となる視座を、文化人類学の関連文献の講読と討議を通して把握することを目指す。</p>							
[到達目標]							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェミニズムの視点が、女性に特化した研究に閉じられたものではなく、人間を根底から考察し、異なる存在が共生するうえで必要不可欠な視点であることを理解する。</li> <li>・日常生活のなかで、自明とされているジェンダー観を問い直すことができるようになる。</li> <li>・現代のジェンダーをめぐる諸議論を把握できるようになる。</li> <li>・ジェンダーの視点を文化人類学に取り入れることの意義と課題について把握する。</li> </ul>							
[授業計画と内容]							
<p>授業では『ジェンダー人類学を読む』（宇田川妙子・中谷文美編）を講読するが、受講生は担当する章と、そこに提示されている参考文献のうち、一つを取り上げてレビューを行い、授業でディスカッションを行う。授業と講読を通じて、ジェンダーやセクシュアリティをふまえた人類学的な研究の動向と視座を明らかにする。</p>							
<p>第1回 講義と講師の紹介  第2回 ジェンダー人類学の現在  第3回 国家が規定するジェンダー役割とローカルな実践 インドネシア  第4回 他者化するまなざしの交錯の中で タイ  第5回 女性・身体・暴力 インド  第6回 世俗主義・イスラーム・女性 トルコ  第7回 地域の「門番」概念としてのジェンダー・セクシュアリティ 地中海ヨーロッパ  第8回 アフリカ地域研究における生業とジェンダー 中南部アフリカを中心に  第9回 親族組織に埋め込まれたジェンダー ポリネシア・サモア  第10回 ジェンダー視点と社会問題の交錯 オーストラリア・アボリジニ  第11回 「開発とジェンダー」をめぐる政策と実践 スリランカ農村女性の事例から  第12回 国際移動とジェンダー フィリピンの事例から  第13回 グローバル化する世界における女子割礼 / 女性性器切除 交渉されるジェンダーとセクシュアリティ  第14回 <u>ポストコロニアリズム・フェミニズム・宗教</u> - - - - ILASセミナー：社会人類学調査法(2)へ続く - - - -</p>							

ILASセミナー：社会人類学調査法(2)

第15回 フィードバック

**[履修要件]**

他の人類学に関する講義を同時に受講していることが望ましい。

**[成績評価の方法・観点]**

授業への出席が前提となる。講義内での受講生の報告（60%）、ディスカッションへの参加状況（40%）で評価する。

**[教科書]**

宇田川妙子・中谷文美（編）『ジェンダー人類学を読む』（世界思想社、2007年）

**[参考書等]**

（参考書）  
授業中に紹介する

**[授業外学修（予習・復習）等]**

- ・ 講読担当者以外も、受講生は講読箇所をあらかじめ読んで授業に臨むこと。
- ・ 講読担当者は、文献に登場する概念や用語の背景も調べたうえで講読担当章の内容を要約し、自分の意見もまとめて発表すること。
- ・ 受講生は授業で提起された問いを、関連文献の講読によって深めることが期待される。

**[その他（オフィスアワー等）]**

- ・ 総合人間学部の学生は、別途選抜を行うので、総合人間学部便覧のシラバスを確認のうえ第1回目の授業に出席すること。
- ・ 授業中、疑問点などは積極的に質問すること。

**[主要授業科目（学部・学科名）]**